

～「みなまたMOYAI ST」によるコミュニティ・マネジメント～

熊本県立水俣高等学校電気建築システム科建築コース

Wood Connect Projectは、2018年にスタートして今年で5年目なんだ。建築コースが地域の課題解決のために、様々な機関と連携して、必要な建築技能などの資質・能力を獲得し、SDGsの目標達成を目指す取り組みだよ。



水俣の山の現状

森林が市域の75%、うち人工林は95%

木材資源 → 木材・木質材料 → 木造住宅・家具等
活用状況が知らない

山林管理への不安 手入れ不足

森は海の恋人

「森は海の恋人」～流域管理の必要性～

豊かな山 (多面的機能: 防災、生物多様性、水源涵養機能など)
適正な管理 (土壌に含まれるミネラルなど)
豊かな海 (植物性プランクトンの発生)

建築コースSWOT分析

内部環境の強み (S)	内部環境の弱み (W)
<ul style="list-style-type: none"> 連携事業により、意識が高まり、建築関係に道路を決める生徒が増えている 教師がそれぞれ得意な専門分野に分かれている 探究活動を通しての環境学習、特にSDGsについて学んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 建築コースの生徒が年々減少している 依頼を受けすぎる、一部関係者に偏っている 製品を製作し寄贈するのみで、探究活動になっていない
外部環境支援的要因 (O)	外部環境阻害的要因 (T)
<ul style="list-style-type: none"> 水俣環境アカデミアとの連携事業を継続している 水俣市建具組合より、技術指導の機会ができた 地元企業より材料提供がある 森林が豊かで、伐採体験の機会提供がある 	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関からの依頼が年度途中にあり、授業変更など対応に苦慮している 依頼が様々な所からあり、対応が大変である 教師や生徒の手間が増え、材料や予算の問題がある

ビジョンを明確に

めざす姿に向け 戦略マップを作成

- ① 目指す姿を共有
- ② 課題発見・解決
- ③ 持続を可能に



2020は資源箱 (容器包装プラスチック)
2021は水俣市役所新庁舎 キッズコーナー製作



Wood Connect Project2022 「みなまたMOYAI ST」によるコミュニティ・マネジメント

Wood connect project 2022

～コミュニティ・マネジメントによる「みなまたMOYAI ST」の養成～

水俣高校建築コースと水俣環境アカデミアの共通目標 Society5.0を創り出す力の養成「みなまたMOYAI ST」

- 地域の課題を自分事として認識し、持続可能な地域を創出す
- 課題解決に必要な資質、能力の獲得
- 社会に関わった教育課程

WCP学びの地図

WCP2022ビジョン ～みなまたMOYAI ST～

令和4年度教育スローガン 「何事にも当事者意識を持ち、主体的に行動できる生徒の育成」

① 新たな価値を創出す力
② 新たな価値を創出す力
③ 新たな価値を創出す力
④ 新たな価値を創出す力

WCPのSDGs 行動・時間軸

6つのアクションプログラム

- 気付く 伐採実習 山や木の学習 現状を知る
- 教える 作品製作 出前授業 コミュニケーション
- 習う ものづくり マスター 技能の伝承
- 考える 建築現場見学 建築への学び 見て触れて学ぶ
- 作る 加湿器 ワークショップ 協力と協働
- 発信する 建具パンフレット ラック 市内中学校へ寄贈

建築コースがハブに！大きくなる関連図

